

審査項目ごとの事業説明

記入例

団体名	〇〇〇の会	いずれかの審査項目の事業説明の中で、具体的な数値（この事業を行うことで、こういった〇人の方を□人に減らしたい など）をできる限り記入してください。	
事業名	〇〇〇〇〇事		

審査項目	審査基準	事業説明
公共性 公益性	・まちづくりや地域へ貢献できるものであるか ・趣味的で対象者が極めて限られる活動ではないかなど	全ての方が対象であり、人権の尊重、多様性を認め合う男女共同参画社会の実現に向けた、地域、社会に貢献できる事業である。 第5次安城市男女共同参画プランの成果指標である「家庭生活において男女平等と考える市民の割合(市民アンケート調査)(R4 27.3%)を増加させることに貢献する。
主体性 積極性	・自主的に企画・運営・実施するものであるか ・積極的に協働する姿勢があるかなど	イベントは当団体が主に企画・運営し、実施は学生ボランティアと協働で行う。啓発誌は主に当団体が作成し、配布等は町内会と協働で行う。 チラシや啓発誌の配布は、自分たちで公民館に持込んで啓発していく。
実現性 計画性	・事業計画・収支計画の具体性・妥当性があるか ・事業遂行が実現可能なものであるかなど	4月から週に1回打合わせをし、8月末頃には内容等を決定し、11月にイベント開催・啓発誌発行と、時間的には十分な計画であり、会場に観客を入れてできない場合は、オンラインでの開催も検討している。
独創性 発展性	・創意工夫がみられるか ・今後の活動につながる取組みはあるかなど	複数の講師を招いてディスカッションしてもらうこと、イベント開催と併せて啓発誌を配布することで、市民の方により理解を深めてもらうことができる。また、イベント後にアンケートを実施することにより、男女共同参画の意識の変化を確認し、今後の活動に活かしていく。
啓発性 PR性	・市民への発信力はあるか、 ・実施に当たってのPR方法はどうか など	チラシや啓発誌の配布は、自分たちで、多くの町内会や公民館に持込んで啓発し、また、SNSも活用してPRしていく。